

人間科学研究科教授会議事要旨

日	時	2022年1月20日(木)	13:53~15:06
場	所	ユメヌホール(207講義室)	
出席者	白井研究科長、 青野、足立、渥美、五十嵐、稲場、エツロット、岡田、岡部、鹿子木、川端、 河森、北山、吉川、木村(涼)、栗本、小林、権藤、斉藤、佐々木、 佐藤(功)、佐藤(眞)、澤村、篠原、志水、白川、管生、杉田、園山、高田、 千葉、辻、中井、中野、西森、入戸野、野坂、野尻、野村、檜垣、平井、福岡、 藤川、藤目、三浦、三好、村上、森川、モハーチ、森田(邦)、安元、八十島、 山田、山中、綿村(計55名)		
欠席者	老松、大谷、クロイドン、牟田、森田(敦)、山本(計6名)		
海外渡航者等	遠藤(計1名)		

[議事に先立ち、前回(12月16日)の議事要旨を確認した。]

(協議事項)

1. 研究科委員会の議決事項について

本日開催の研究科委員会での議決事項について説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 共生学系准教授(総長裁量ポスト)の採用について(第一回)

2021年11月25日教授会において、令和4年度総長裁量ポストを共生学系へ配分することが決定したこと及び2021年12月15日(木)教授会において、准教授選考委員会(総長裁量ポスト)の設置が承認された旨の説明があった。

続いて、選考委員から、資料1に基づき、候補者の選考経緯、経歴等について説明があり、次回2月17日(木)開催の研究科教授会での継続審議となった。

3. 公認心理師プログラム運営室特任講師(常勤)選考委員会の設置について

公認心理師プログラム運営室特任講師(常勤)選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、選考委員についても、併せて承認した。

4. 令和4年度人間科学研究科兼任教員の委嘱について

資料2に基づき、各教員から新規1件及び継続14件の兼任申請があった旨説明があり、続いて、この新規1件について、経緯等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 令和4年度人間科学研究科招へい教員等の受入れについて

資料3に基づき、令和4年度の招へい研究員等の受入れ27件(新規7件(2件はすでに承認済で4件は今年度末退職の本研究科教員)、継続20件)の申し出があった旨、説明があり、続いて、新規1件について、受入れの経緯等について説明があり、審議の結果、新規の招へい教授の称号付与1件を含め、これを承認した。

6. 学内委員の選出について

資料4に基づき、4件委嘱依頼があった旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. その他

なし

(報告事項)

1. 各種委員会報告

各委員等から順番に報告

[学内関係]

- (1) 全学教育推進機構会議 (12.17 檜垣教授)
- (2) 国際交流委員会 (12.21 大谷教授)
- (3) 国際教育交流センター教授会 (12.24 大谷教授)
- (4) 図書館委員会 (12.28 足立教授)
- (5) 吹田地区事業場安全衛生委員会 (1.7 中野准教授)
- (6) 学生生活委員会 (1.12 入戸野教授)
- (7) 遺伝子組換え実験安全委員会 (1.12 八十島教授)
- (8) 人文社会科学系戦略会議 (1.12 研究科長)
- (9) 人文学研究科設置準備委員会 (1.12 研究科長) 【資料5】
- (10) グローバル日本学教育研究拠点運営会議 (1.12 研究科長)
- (11) 教育課程委員会 (1.14 西森教授)
- (12) 施設マネジメント委員会 (1.18 研究科長)
- (13) COデザインセンター運営協議会 (1.19 研究科長)
- (14) 吹田地区箕面地区合同部局長会議 (1.19 研究科長)
- (15) 教育研究評議会 (1.19 山中副研究科長) 【資料6】
- (16) 部局長会議 (1.19 研究科長) 【資料7】
- (17) 吹田地区事務長会 (1.11 事務長)

[部内関係]

- (1) 大学院入試運営委員会 (1.7 研究科長)
- (2) 教務委員会 (1.13 西森教授)
- (3) 入学試験委員会 (1.13 学部長)
- (4) 運営会議 (1/19 研究科長)
- (5) 各室報告
 - 未来共創センター (山中副研究科長)
 - 評価資料室 【資料8】
 - 大阪大学人間科学部・人間科学研究科創立50周年記念事業準備室 (渥美副研究科長) 【資料9】
 - 学生支援室

2. 令和3年度予算執行状況について

資料10に基づき、令和3年度予算執行状況について報告があった、

3. 次世代挑戦的研究者育成プロジェクトについて

資料11に基づき、次世代挑戦的研究者育成プロジェクトの募集について報告があった。

4. その他

「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップの2次募集について報告があった。

以上